

平成 29 年度第 2 回学校評議員会記録

1 日 時 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 10

2 場 所 会 議 室

3 出席者

(1) 学校評議員 (5 名)

A 評議員 (地域関係者)

B 評議員 (学識経験者)

C 評議員 (保護者)

D 評議員 (施設関係者)

E 評議員 (医療関係者)

(2) 本校職員 (12 名)

校長 副校長 2 名 事務長 小学部長 中学部長 高等部長 分教室主任

訪問教育部主任 総括教務主任 生徒指導主事 進路指導主事

4 内 容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 協議・報告

ア 平成 29 年度学校運営方針について (校長)

(ア) 重点目標と目標達成のための方策について

・今年度は児童会・生徒会、部活動の活性化が図られた。地域に関わる活動となった「世代をつなぐ街づくり交流会事業」では生徒の発表により、地域の方々に本校を理解していただくよい機会となった。また、部活動では中学部・高等部のバドミントン部が大会に積極的に参加するなど活性化がみられた。

- ・復興教育の推進では小学部が町内の公園を地域の方と合同で草取りを行った。また、今年度は初めて全校児童生徒で非常食体験を3月に行うことになっている。
- ・高等部、訪問教育部ではプロサッカーチームのグルージャ盛岡との交流が実施された。グルージャ盛岡のホーム最終戦には、県下の支援学校の児童生徒が招待され、約120名が観戦した。本校紹介のブースも設けられ、支援学校の理解につながった。次年度は他校の紹介や作品販売等も考えていきたい。
- ・授業研究の充実、各教科、学部による授業評価の実施を今後は更にすすめていく。また、ICT機器の有効活用のため職員研修を進めたい。
- ・特別支援教育の専門性向上のため、学識経験者等との連携による研修会を実施した。
- ・キャリア教育「夢と希望」実現サポート事業は、各学部とも有効に活用できた。次年度も希望したい。
- ・卒業予定児童生徒の進路状況について（進路指導部より報告）
 - ◎小学部・・・本校中学部、前籍校地域の学区の中学校支援学級
 - ◎中学部・・・県立高校、県立支援学校、私立高校、県外私立高校
 - ◎高等部・・・福祉的就労、一般就労、入院、その他

イ 平成29年度教育活動について（スライドを用いて各学部主事・主任より報告）

- （ア）小学部・・・歯磨き教室、交通安全教室、校外学習、復興教育、ドリームマップ
- （イ）中学部・・・環境教育、職場体験、進路講演会、保健講話、サマーフェスティバル
- （ウ）高等部・・・グルージャ盛岡との交流会、救命救急講習会職場体験、技能認定会
- （エ）分教室・・・授業の様子、校外学習、音楽交流会、学校祭
- （オ）訪問教育部・・・校外学習、七夕コンクール、グルージャ盛岡との交流会（3回）

ウ 平成29年度学校評価結果について（副校長より報告）*結果はHPに掲載予定

(4) 意見・提言

◎B評議員

スライドを見て、「命が光り輝く学校」であると感じた。親身な支援や相談がなされていたが、これで終わりではないと思う。また、連携と協働は学校の成果でもあり、同時に課題でもあると思う。

◎C評議員

地域の方には支援学校は馴染みがないと思うので、地域交流を進めるなど、情報発信を継続してほしい。たくさんの行事が紹介されたが、次年度も多くの有意義な行事と子どもたちへの個別の対応をお願いしたい。

◎A評議員

学校も地域の一員である。地域の行事に参加することで学校の理解も深まるが、何より、子どもたちが「地域の目」を感じるようになるのではないだろうか。また、子どもたちに地域の歴史などを紹介する機会があれば、より一層、地域に親しみを持てると思う。

◎E評議員

青松支援学校のドリームマップを作ってみてはどうか。未来のあるべき学校像を描けると思う。

◎D評議員

学園では、子どもたちがより家庭的な環境で生活ができるようすすめている。学校でも子どもの個に応じた学習をお願いしたい。また、一時的に学園で生活する子どもたちもいるが、その子どもたちへの学習の保障ができるよう希望する。

(5) 閉会